

第10回 地域包括ケアシステム特別オープンセミナー

尊厳ある“在宅での看取り”とは

85歳以上の超高齢者が1,000万人を超える日が10年後に迫っています。「在宅」の意味も、旧来の自宅に加え、有料老人ホーム等柔軟に捉えられるようになった中、在宅医療は、入院と外来に並ぶ、もしかするとそれ以上にニーズが大きい医療分野になろうとしているのかもしれない。

そこで、今回のセミナーでは「尊厳ある“在宅での看取り”」を念頭に置きながら、在宅医療を巡る関係者の取り組み、課題、将来展望を自由に語り合います。

日時：令和6年9月2日(月) 14:00~17:15 (開場：13:30)

会場：全国社会福祉協議会/全社協・灘尾ホール(新霞が関ビル内)

(〒100-8980 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル1F) ※当日オンライン配信なし

内容：

【開会挨拶】 14:00~14:05

辻 哲夫(医療経済研究・社会保険福祉協会 理事長)

【基調講演】 14:05~14:45

田中 滋 氏(公立大学法人 埼玉県立大学 理事長)

「何が地域包括ケアシステムの中核なのだろうか」

【ショートレクチャー】 14:45~16:00

武田 俊彦 氏(日本在宅ケアアライアンス 副理事長)

「2040年の社会と地域包括ケアシステムの新たな展開について」

花戸 貴司 氏(東近江市 永源寺診療所 所長)

「地域全体からみる地域包括ケア~永源寺の地域まるごとケア~」

仲井 培雄 氏(医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院 理事長/地域包括ケア推進病棟協会 会長)

「地域包括ケア病棟を有する急性期病院における看取り」

高砂 裕子 氏(一般社団法人 全国訪問看護事業協会 副会長)

「尊厳ある“在宅での看取り”訪問看護の実践からの報告」

柴田 久美子 氏(一般社団法人 日本看取り士会 会長)

「自宅で最期を迎えるために」

【休憩】 16:00~16:15

【パネルディスカッション】 16:15~17:15

座 長：田中 滋 氏

パネリスト：武田 俊彦 氏、花戸 貴司 氏、仲井 培雄 氏、高砂 裕子 氏、柴田 久美子 氏

【閉会】 17:15

参加費：無料(賛助会員・一般) ※第10回記念開催のため、無料でご参加いただけます。

定員：200名 ※弊機構の賛助会員以外の方もご参加いただけます。

お申込：令和6年8月28日（水）締切（定員に達し次第、締め切らせていただきます）
医療経済研究機構ホームページ内の「セミナー：特別セミナー」よりお申し込みいただくか、
下記 URL にアクセスし、お申し込みください。
<https://www.ihep.jp/seminar/special-seminar/>

会場案内図

《全国社会福祉協議会／全社協・灘尾ホール》

東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル 1F



○駐車場のご用意をしておりますので、お車でのご来場はご遠慮願います。
○当申込の際に記載いただいた個人情報は、セミナーのご案内・ご連絡に使用する以外には一切使用いたしません。

◆電車：

- 地下鉄銀座線「虎ノ門駅」11番出口より徒歩5分
- 地下鉄千代田線／丸の内線／日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分
- 地下鉄千代田線／丸の内線「国会議事堂前駅」3番出口より徒歩5分

【お問い合わせ先】

〒105-0001
東京都港区虎ノ門 1-21-19 東急虎ノ門ビル 3階
一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会
医療経済研究機構 企画渉外部
TEL：03-3506-8529
E-mail：info@ihep.jp